

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	臨時職員等雇用事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）		01	02	01	02	04	01
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課		人材育成課			
				主管課長		伊藤 龍史			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	臨時職員	意図	簡素で効率的な組織を維持しながら、行政サービスの維持・向上をしていくため、臨時職員の活用を図る。
事業内容	職員欠員対応臨時職員等の雇用に係る事業。			
事業開始から現在までの状況変化	軽易な事務や繁忙期の業務などに臨時職員を活用し、職員数の削減を図ったことに伴い、開始時は臨時職員数は増加したが、再任用職員の活用等により現在の任用者数はほぼ横ばい状態にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	臨時職員数	796	802	849	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
平成29年度は前年度と比べ育児休業取得者や療養休職者が少なかったため、執行額は減少した。指標の臨時職員数は、児童の増加に伴い、学校における介添え及びサポート教員の増員を図ったため、臨時職員の全体数は増加した。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	21,226,015	29,924,137	14,098,800
事業費(b)(円)	14,449,015	23,745,637	8,058,000
うち一般財源	14,449,015	23,745,637	8,058,000
職員給与費(c)(円)	6,777,000	6,178,500	6,040,800
人役・職員(人)	0.90	0.90	0.90
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	臨時職員の処遇や適正な臨時職員数について検討する。	③取組の課題	再任用職員の配置に伴い、各課からの臨時職員配置要望との調整を図り、臨時職員の配置の見直しを行う必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	賃金の見直しを図った。また、再任用職員の配置に合わせ、臨時職員の配置を見直した。	④今後(H30以降)の改善計画	再任用職員の配置に伴い、臨時職員の適正な配置について、担当部署との調整を図る。